

畜産

6月1日は牛乳の日

◆牛乳PR! たくさん飲んで!

JAとJA全農いわては、6月1日の「牛乳の日」に合わせて、JR花巻駅前で牛乳400個を配りました。

牛乳に対する関心を高め酪農を多くの人に知ってもらいたいと、通勤や通学の駅利用者に牛乳の栄養や牛乳が出来るまでが書かれたパンフレットとともに200mlの県産牛乳を手渡し、「牛乳には栄養がたくさん入っています! 毎日飲みましょう」と声をかけました。

また、JA全農いわては同日、JR水沢駅と一ノ関駅で300個と800個を配ったほか、岩手大学内でも1,000個を配布しました。



夏を牛乳で乗り切ろう!

暑さにつよい体をつくる!



熱中症の予防にも、牛乳がパワーを発揮!

過度な運動後に牛乳などのたんぱく質と糖質をふくむ食品をとると、血液の量がふえます。すると汗をかきやすくなり、熱を逃して体温があがりにくい、暑さにつよい体になることが最近の研究でわかってきました。暑くなる前に、おためしを!

資料提供: 一般社団法人中央酪農会議

園芸

大槌町産シイタケ! 大健闘!

第55回農林水産祭参加第49回全農乾椎茸品評会(出品数:全国から6銘柄364点)において、大槌町の兼澤平也さん(68)と静子さん夫婦が花どんこの部で農林水産大臣賞を受賞しました。今年は、寒暖差が大きく栽培に苦勞する年でしたが、兼澤さんはハウス内の温度や湿度などの栽培管理を徹底。日々の努力が受賞へと繋がりました。

第46回岩手県乾しいたけ品評会(出品数:県内から5銘柄92点)では、大槌町の三浦蔵七さん(74)がこうしんの部で最優秀賞を受賞。品評会は、東日本大震災による福島第二原子力発電所の事故以来、開催を見合わせていましたが、今年5年ぶりに再開。三浦さんのシイタケはフチの巻き込みとヒダの色が評価され

受賞となりました。

大槌町では、原発事故以前には50人近くいた生産者が半減し、現在は15人の出荷制限が解除になっています。三浦さんは原発事故後、所有ほだ木6万本を破棄し再出発。現在は2万本で栽培しています。「原発事故後、辞めようとも考えたが、諦めずにやってきてよかった。栽培仲間たちと支え合いながらここまで来た。」と受賞の喜びを語りました。三浦さんのシイタケは7月に行われる全国大会へ出品されます。



畜産

第2回花巻農協肥育部会女性部枝肉研究会

◆最優秀賞に渡辺さん

JA肥育部会女性部は6月3日、東京食肉市場㈱で「第2回花巻農協肥育部会女性部枝肉研究会」を開催しました。

去勢、雌の黒毛和種合わせて24頭が出品された研究会では、女性の元気な「わっしょい」の声が響き渡り会場を圧倒させました。最優秀賞には、渡辺容子さん(73)が選ばれ(出品:雌、生体重720kg、枝肉重量467kg)小ザシでバランスよく入ったサシのほか、肉付きや体形の良さが評価されました。渡辺さんは「これまで管理をひとりで行ってきた。受賞はこれからの活動の励みになる。」と笑顔を見せました。



最優秀賞の渡辺容子さん(左)と受賞者 セリ場の様子(東京食肉市場㈱)

◆女性の活躍

同研究会は、北上地域肉牛部会の女性部が平成6年から開催していましたが、昨年度より、管内全域の肥育に携わる女性を対象に開催しました。管内の女性部の技術の研さんと交流を深めるとともに、女性の活躍の場を広げ、畜産を活性化させることを目的としています。女性の活躍は今後の畜産に新たな風を呼び込むと期待がかかります。

牛飼いい女子たちの活躍

岩手県は肉用牛や酪農に携わる女性を「牛飼いい女子」と位置付け、女性の視点を生かしたグループ活動を支援し女性の経営参画の推進を図る活動を展開しています。JAの北上地域では畜産に携わる女性で構成する「ビーフレディースたかみ」が肉牛の消費拡大やPR活動、商品開発などを展開。研究会も女性の活躍の場の拡大に向けて追い風となっています。



米穀

雑穀機械化体系に向けて

JA管内で生産した雑穀を製品化している、JAの子会社(株)グリーンサービス花巻プロ農夢花巻事業本部では、雑穀「いなぎび」を苗で移植する栽培試験に取り組んでいます。全国から高い需要があるものの供給が間に合わない状況にあり、今回の試験が成功すれば新規栽培にも取り組みやすくなり、栽培規模拡大への新たな可能性が生まれると期待がかかります。

◆播種が一般的な雑穀、苗移植でのメリットは?

- ・播種後の間引きなどの作業を軽減できる
- ・気象状況や病害虫のリスクを回避できる(播種後のゲリラ豪雨などで種が流れてしまうなど)



苗の移植試験。プロ農夢花巻では今年度、3つのほ場で試験栽培を行います

園芸

ピーマン選果始まる!



JA石鳥谷東支店敷地内(花巻市石鳥谷町)にあるJA石鳥谷園芸センターでは、6月1日からピーマンの選果が始まりました。管内のピーマンはすべて石鳥谷園芸センターに集約し、共同選果しています。出荷最盛期は8月です。

◆共同選果のメリット

- ・収穫後コンテナのまま出荷でき、農家の労力軽減になる。
- ・品質や規格が統一され信頼のおける産地を確立できる。

◆平成27年度の販売・出荷実績

販売:約4億円
出荷:約12万9,000ケース(7.5kg/1ケース)

◆ピーマン豆知識

特有の香りと鮮やかな彩色を持つ。疲労回復や美肌など幅広い薬能を持つ夏野菜の代表格。

グリーンセンターの定休日

7月・8月の定休日と営業時間は次の通りです。ご確認の上ご来店ください。

	7月	8月	営業時間
花巻	20日(水)	16日(火)	8:30~17:30
石鳥谷	9日(土)	13日(土)	8:00~17:30
大迫	土曜日・日曜日・祝日		8:30~17:00
東和	16日(土)・30日(土)	20日(土)	8:30~18:00
北上	17日(日)	21日(日)	8:30~18:00
西和賀	17日(日)	21日(日)	8:30~18:00(土日祝17:00まで)
遠野	13日(水)	15日(月)	8:30~18:00

※定休日と営業時間はそれぞれの店舗によって異なりますのでご確認ください。
8月31日(水)は棚卸の為、全店休業と致します。

●お問い合わせ/営農推進部生産資材課 ☎0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで